

平成30年度 事務事業評価シート(実施計画事業・経常事業)

事務事業名	外国人児童生徒教育推進事業		担当部	教育委員会事務局	担当課	学校教育課	担当係	学校教育課							
実施計画	2	年目													
新基本計画	市政戦略編	分野別計画編	3	教育・子育て	12	学校教育	3	教育力を向上し、調和のとれた人格形成を支援します							
予算区分	一般会計	款	10	教育費	項	3	教育総務費	目	3	教育指導費	大	5	中	2	
根拠法令・個別計画	①	②		③											
目的	何(誰)を対象に	日本語指導が必要な外国人児童・生徒													
	どのような状態にするか	日本語や日本の学校生活における初歩的なルール、学習指導や進路指導をする。													
事業の概要	手段 どのような事業を実施するか	<p>【日本語初期教室の設置、巡回指導の実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本語初期教室で、約3か月間、集中的に日本語や日本の学校生活におけるルールなどの初期指導を実施する。また、市内小中学校を計画的に巡回し、指導にあたる。 ※語学相談員（日本語初期教室及び巡回指導） 生活自立・社会自立・職業自立等に向けて、学習適応指導、母語指導、児童・生徒の心のケア、通知表や書類の翻訳、夏休みや冬休みの日誌の翻訳、日本語能力の弱い保護者からの相談・対応など、多岐にわたる業務を行う。 (外国人児童生徒に対しては、少なくとも週1回の語学相談員による指導が望ましいとされている。) ※日本語指導員（日本語初期教室及び巡回指導） 海外やブラジル人学校等から小牧市立小中学校に転入してくる日本語がわからない外国人児童生徒に対して、在籍校での学習が円滑に行えるようにする。 <p>【外国人児童生徒教育推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人児童生徒教育推進事業を委託する。委託先は、小牧市外国人児童生徒教育連絡協議会。 													
		事業内容													
概要	年度別事業内容	28年度	<p>○日本語初期教室の設置、巡回指導の実施</p> <p>語学相談員（18名：日本語初期教室及び巡回指導）</p> <p>日本語指導員（4名：日本語初期教室及び巡回指導）</p> <p>○外国人児童生徒教育推進事業委託</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委託事業の内容は、外国人児童生徒教育を行う上で、一人ひとりに合った教材の作成、各学校との情報交換、交流会の実施、進路説明会の企画・運営 												
		29年度	<p>○日本語初期教室の設置、巡回指導の実施</p> <p>語学相談員（19人）→特に不足していた中国語の語学相談員1人を増員した。</p> <p>日本語指導員（4人）</p> <p>※語学相談員の勤務先については、日本語初期教室担当と巡回担当と分けていたが、より効果のある体制をとるため、日本語初期教室が繁忙となった場合に、巡回担当の語学相談員を日本語初期教室への配置ができるよう見直した。</p> <p>○外国人児童生徒教育推進事業委託</p>												
		30年度	<p>○日本語初期教室の設置、巡回指導の実施</p> <p>★日本語初期教室室長(1人)→日本語初期教室マネジメント機能強化のために設置</p> <p>語学相談員（19人）</p> <p>日本語指導員（4人）</p> <p>○外国人児童生徒教育推進事業委託</p>												

	H28		H29		H30
	当初予算額	決算額	当初予算額	決算見込額	当初予算額
合計	61,036	58,700	61,220	59,066	64,551
国支出金				9,200	7,000
県支出金					
地方債					
その他					
一般財源	61,036	58,700	61,220	49,866	57,551
特定財源の説明					
事業費内訳(千円)	H28		H29		H30
	当初予算額	決算額	当初予算額	決算見込額	当初予算額
細々節					
4 社会保険料	6,696	5,931	7,216	5,903	7,967
7 臨時嘱託職員賃金	52,469	51,117	52,493	51,754	55,064
11 消耗品費	1,450	1,242	1,100	999	1,100
12 通信運搬費	105	96	105	104	114
13 外国人児童生徒教育推進事業委託料	227	227	217	217	217
14 事務用機器借上料	89	89	89	89	89
従事者数					
正職員(人数)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.08
その他職員(人数)	22.00	22.00	23.00	23.00	24.00

	事業の成果指標		単位	H26	H27	H28	H29	H30
	①	日本語初期教室への入室児童生徒数	人	目標	—	—	—	—
			実績	33	46	54	47	—
②			目標					
			実績					
	事業の活動指標		単位	H26	H27	H28	H29	H30
	①	日本語指導を必要とする児童生徒数	人	目標	—	—	—	—
			実績	757	827	894	955	—
②			目標					
			実績					
事業の目標達成状況とその要因、実績増減の要因								
業績	H29 実施結果	日本語指導を必要とする児童生徒(日本国籍保有者を含む)は年々増加し、愛知県でも上位を占めている。また、語学相談員が対応している4言語(ポルトガル語、スペイン語、タガログ語、中国語)以外の言語の児童生徒も多くなっており、今後も多言語化が進むと考えられ、日本語初期教室、巡回指導の体制の見直し、充実をはかる必要がある。						
	今後の見通し、要因を踏まえた事業の見直し							
ステップⅡ	H29 実施結果	引き続き、現在の事業内容に沿った取り組みを行う。						

事業の評価	事業の方向性	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの
	判定理由	初歩的な日本語やルールが理解できていない段階の外国人児童生徒が学級に在籍する状態は、学校現場での負担、影響が大きくなる。	